



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 アズワン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7476 URL http://www.as-1.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)井内 卓嗣  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役コーポレート本部長 (氏名)西川 圭介 (TEL)06-6447-1210  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	16,952	8.4	1,662	△5.1	1,765	△3.6	1,222	△2.1
2020年3月期第1四半期	15,640	1.7	1,751	△2.9	1,830	△0.9	1,249	0.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,850百万円(△13.4%) 2020年3月期第1四半期 2,135百万円(137.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	65.51	65.42
2020年3月期第1四半期	66.91	66.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	82,756	56,933	68.7
2020年3月期	81,520	56,493	69.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 56,813百万円 2020年3月期 56,374百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	83.00	—	77.00	160.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	60.00	—	61.00	121.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,500	△0.3	2,490	△35.1	2,660	△33.2	1,770	△34.9	94.82
通期	72,500	3.0	6,340	△25.9	6,670	△24.4	4,500	△24.6	241.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	20,688,135株	2020年3月期	20,688,135株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,015,386株	2020年3月期	2,020,776株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	18,668,106株	2020年3月期1Q	18,667,088株

(注) 期末自己株式数においては、株式給付信託 (取締役向け) 及び株式給付型E S O P信託の信託財産として日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) (現 株式会社日本カストディ銀行(信託口))が所有している当社株式(2021年3月期1Q 33,760株、2020年3月期39,160株)を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
3. 補足情報 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日、以下「当第1四半期」という）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、政府の緊急事態宣言が発出され、経済活動の抑制を余儀なくされました。宣言解除後に徐々に経済活動が再開したものの停滞感はぬぐえず、再拡大への警戒も含め先行き不透明な状況が続いています。一方、医療の現場においては、重症者対応や感染防止対策における設備・物資・人員不足で一時医療崩壊が懸念されるまでの状況に至り、宣言解除後も今後予想される再拡大への備えとともに、通常診療への影響から経営環境の変化が懸念されております。

このような事業環境のもと、当第1四半期の連結売上高は、169億52百万円（前年同四半期比8.4%増）となりました。この要因としては、緊急事態宣言下で生産活動や研究活動が一時的に停滞していたなかでも、感染防止用品や検査関連品の需要が大きく高まったこと、対面での受発注が難しいなかでeコマース関連での需要が伸張していること、WEB上の取扱商品の品揃えが440万点を超え新規の売上に寄与していること等があげられます。

販売費及び一般管理費につきましては、36億47百万円（同15.0%増）と前年同四半期比4億75百万円増加しました。増加要因としては、物流自動化設備など約45億円の設備投資を行ってきた新物流拠点Smart DCが2020年5月に稼働したこと等により減価償却費が1億20百万円増、不動産賃借料が1億20百万円増となったこと、人件費負担等により上昇が続いている運賃及び倉庫作業料が1億16百万円増となったこと等が主な要因となります。一方、カタログ費については前年同四半期には中国語カタログの更新がありましたが、当第1四半期にはカタログの更新がなく大きく減少しております（参照：「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」添付四半期毎のカタログ費イメージ）。

この結果、営業利益は16億62百万円（同5.1%減）、経常利益は17億65百万円（同3.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億22百万円（同2.1%減）となりました。

部門別の状況及び中期経営計画主要売上施策の進捗状況は以下のとおりです。

なお、部門の名称を以下のとおり変更しておりますが、集計方法は従来と変更ありません。

<ラボ・インダストリー部門（旧研究・産業機器部門）>

大学、研究機関及び企業の研究部門等を対象としておりますラボラトリー分野（旧科学機器分野）では、緊急事態宣言下において一部で在宅勤務等の措置が取られ需要が軟調となりましたが、感染防止用品や衛生検査用品等の需要が増えました。これらにより当分野の売上高は91億71百万円（同3.9%増）と底堅く推移しました。

また、製造現場等を対象とするインダストリー分野（旧産業機器分野）は、同じく緊急事態宣言下において需要が軟調となりました。宣言解除後も生産活動の急速な高まりは見られず、静電対策品や安全保護用品等をはじめ全体的に需要の回復に力強さが欠けました。これらにより当分野の売上高は34億67百万円（同1.7%減）となりました。この結果、当部門の当第1四半期の売上高合計は126億39百万円（同2.3%増）となりました。

<メディカル部門（旧病院・介護部門）>

医療機関や介護施設等を対象としておりますメディカル部門では、前連結会計年度第4四半期に引続き、医療現場の新型コロナウイルス対策としてのマスク・手袋等感染防止用品のみならず、非接触体温計やパルスオキシメーター等バイタル計測機器や安全キャビネットなどの設備品にいたるまで様々な品目に需要は拡大いたしました。当社としては、医療機関を支える商社としてこれらに対応する商品の調達の早期化や多方面への調達ルートの開拓に尽力し、迅速な対応に注力しました。この結果、当部門の当第1四半期の売上高は42億33百万円（同33.2%増）となりました。

<その他>

子会社の株式会社トライアンフ・ニジュウイチは「OffSide」システムにより理化学機器・消耗品等のWEB購買業務代行サービスを運営しております。当第1四半期は、緊急事態宣言下における主要な顧客の在宅勤務推進等による購買需要減退の影響を受け、そのシステム利用料としての売上高は79百万円（同22.6%減）となりました。

<中期経営計画－PROJECT ONE－における主要売上施策の進捗状況>

中期経営計画で掲げる主要売上施策は以下のとおり推移しました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) (百万円)	前年同四半期比 (%)
eコマース ※1	2,973	3,605	121.2
海外事業 ※2	824	786	95.4
合計	3,797	4,391	115.6

※1 eコマースについては、集計対象を一部加えたため、前1四半期連結累計期間の数字を変更しております。

※2 海外事業の7割前後は中国現地法人の売上ですが、現地法人事業年度が1～12月のため、第1四半期連結累計期間には現地における1～3月の売上高を連結しております。

※3 前中期経営計画で掲げていた新規商材は既存事業を含めた各事業にまたがる商材とし、現中期経営計画では分離して扱う集計を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、827億56百万円（前連結会計年度末比12億36百万円増）となりました。このうち流動資産は、476億78百万円（同5億3百万円減）となりました。これは、主として電子記録債権やたな卸資産、現金及び預金等が増加した一方、受取手形及び売掛金が28億3百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、350億78百万円（同17億40百万円増）となりました。これは、主として保有投資有価証券の時価評価及び4月に資本業務提携を行ったHPCシステムズ株式会社の株式を取得したこと等により投資有価証券が12億43百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、258億23百万円（同7億96百万円増）となりました。このうち流動負債は、192億12百万円（同29億67百万円減）となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が18億51百万円減少したこと、未払法人税等が11億85百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、66億10百万円（同37億64百万円増）となりました。これは、主として新型コロナウイルスの感染拡大時の流動性を考慮して借入を行ったため長期借入金が33億50百万円増加したこと等によるものであります。

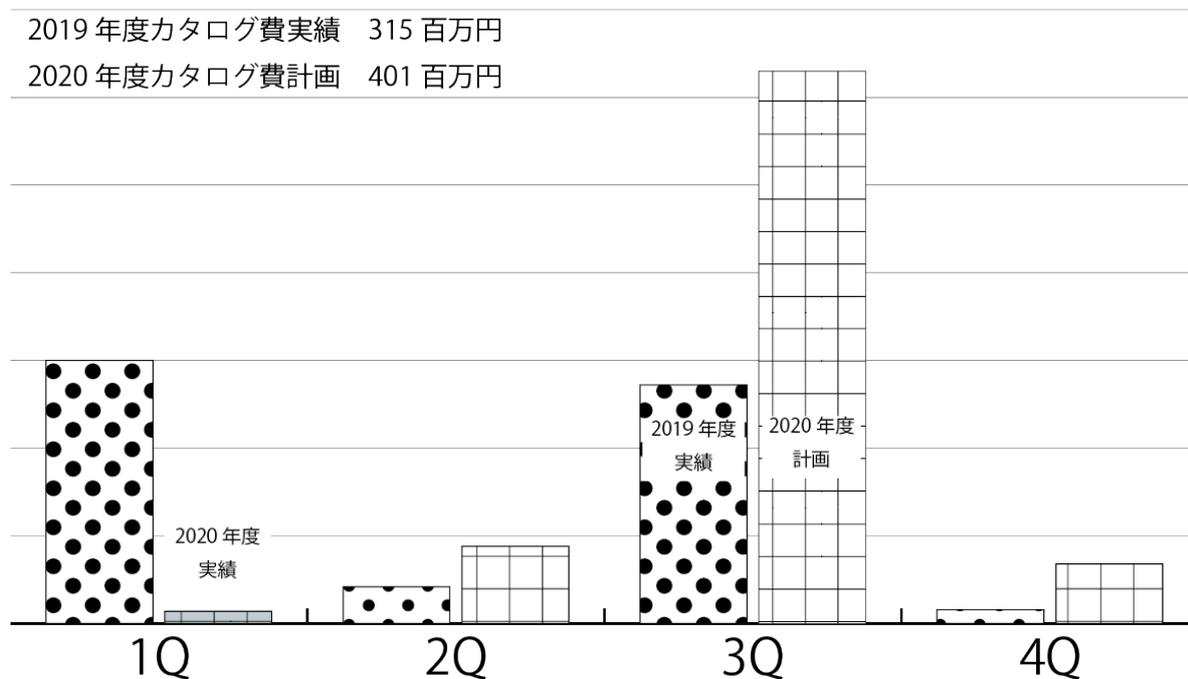
当第1四半期連結会計期間末の純資産は、569億33百万円（同4億39百万円増）となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が6億60百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では2020年5月12日公表の業績予想は変更していません。

なお、当社の場合、カタログの発刊時期により四半期毎のコストが変化する傾向がありますので、予測に関しましては下図を参考にしてください。

(四半期毎のカタログ費イメージ)



(注)この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は業況の変化などによりこの資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

**2. 四半期連結財務諸表及び主な注記**
**(1) 四半期連結貸借対照表**

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,074,682	12,447,041
受取手形及び売掛金	19,757,785	16,954,602
電子記録債権	6,670,833	7,584,117
有価証券	2,000,000	2,000,000
たな卸資産	7,056,307	7,847,860
その他	634,754	857,199
貸倒引当金	△12,645	△12,783
流動資産合計	48,181,717	47,678,037
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,732,907	2,727,190
土地	2,021,463	2,031,560
その他(純額)	4,115,380	4,363,050
有形固定資産合計	8,869,751	9,121,801
無形固定資産		
のれん	912,098	883,595
その他	1,372,081	1,405,797
無形固定資産合計	2,284,180	2,289,392
投資その他の資産		
投資有価証券	17,457,637	18,701,279
繰延税金資産	32,351	57,914
投資不動産(純額)	4,015,688	3,999,830
その他	726,103	964,462
貸倒引当金	△47,369	△55,966
投資その他の資産合計	22,184,411	23,667,520
固定資産合計	33,338,343	35,078,714
資産合計	81,520,060	82,756,751
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,698,353	14,846,631
短期借入金	1,150,000	2,200,000
未払法人税等	1,683,137	497,825
賞与引当金	721,029	598,261
その他	1,927,602	1,070,113
流動負債合計	22,180,122	19,212,831
固定負債		
長期借入金	950,000	4,300,000
繰延税金負債	152,258	536,269
株式給付引当金	111,332	84,548
役員株式給付引当金	33,480	30,132
退職給付に係る負債	12,967	13,307
資産除去債務	898,882	899,810
その他	687,088	746,124
固定負債合計	2,846,009	6,610,192
負債合計	25,026,131	25,823,023

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,075,000	5,075,000
資本剰余金	4,452,559	4,452,559
利益剰余金	48,995,614	48,778,204
自己株式	△5,917,747	△5,887,708
株主資本合計	52,605,426	52,418,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,719,241	4,379,471
繰延ヘッジ損益	20,515	8,158
為替換算調整勘定	28,955	8,253
その他の包括利益累計額合計	3,768,711	4,395,883
新株予約権	119,790	119,790
純資産合計	56,493,928	56,933,728
負債純資産合計	81,520,060	82,756,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	15,640,541	16,952,951
売上原価	10,717,092	11,642,909
売上総利益	4,923,448	5,310,041
販売費及び一般管理費	3,172,276	3,647,922
営業利益	1,751,172	1,662,119
営業外収益		
受取利息	17,899	18,035
受取配当金	21,471	22,266
不動産賃貸料	99,590	107,654
その他	5,759	10,230
営業外収益合計	144,720	158,186
営業外費用		
支払利息	5,484	3,394
不動産賃貸原価	46,679	44,129
その他	13,013	7,501
営業外費用合計	65,177	55,025
経常利益	1,830,715	1,765,280
税金等調整前四半期純利益	1,830,715	1,765,280
法人税、住民税及び事業税	497,416	469,665
法人税等調整額	84,257	72,623
法人税等合計	581,673	542,289
四半期純利益	1,249,042	1,222,991
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,249,042	1,222,991

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	1,249,042	1,222,991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	894,864	660,230
繰延ヘッジ損益	△23,421	△12,356
為替換算調整勘定	14,967	△20,702
その他の包括利益合計	886,411	627,171
四半期包括利益	2,135,454	1,850,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,135,454	1,850,162

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第1四半期連結累計期間において独立掲記しておりました「営業外費用」の「固定資産除却損」は、金額の重要性が乏しくなったため、当第1四半期連結累計期間より「その他」に含めて表示することとしましたので、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。なお、前第1四半期連結累計期間における「固定資産除却損」は2,063千円であります。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

### 3. 補足情報

#### 販売実績

##### a. 部門別販売実績

部門	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
ラボ・インダストリー部門 (旧研究・産業機器部門)	12,358,204	79.0	12,639,333	74.5
メディカル部門 (旧病院・介護部門)	3,179,222	20.3	4,233,791	25.0
その他	103,115	0.7	79,826	0.5
合計	15,640,541	100.0	16,952,951	100.0

- (注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. 部門別販売実績は、部門ごとに管轄する販売店への販売実績を集計した補足情報であり、セグメント情報の記載ではありません。  
 3. 部門名称を変更しました。集計方法は従来と変更ありません。  
 4. その他は株式会社トライアンプ・ニジュウイチのシステム利用料売上であります。

##### b. 品目別販売実績

品目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
科学機器・装置				
汎用科学機器・装置	1,641,009	10.5	1,519,459	8.9
分析、特殊機器・装置	2,648,825	16.9	2,921,225	17.2
物理、物性測定機器・装置	902,539	5.8	843,729	5.0
実験用設備機器	1,357,828	8.7	1,470,123	8.7
小計	6,550,203	41.9	6,754,537	39.8
科学器具・消耗品				
汎用器具・消耗品	4,146,332	26.5	4,295,950	25.4
半導体関係特殊器具	1,895,758	12.1	1,921,325	11.3
小計	6,042,091	38.6	6,217,275	36.7
看護・介護用品	2,945,131	18.8	3,901,311	23.0
その他	103,115	0.7	79,826	0.5
合計	15,640,541	100.0	16,952,951	100.0

- (注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. 品目別販売実績は、当社の品目分類による品目ごとの販売実績を集計した補足情報であり、セグメント情報の記載ではありません。  
 3. その他は株式会社トライアンプ・ニジュウイチのシステム利用料売上であります。